

令和元年度上半期 指定管理者管理運営状況シート

様式3

●施設の概要

施設名	岐阜市文化会館(岐阜市民会館)	所管課	市民参画部 文化芸術課
所在地	岐阜市美江寺町2丁目6番地		
指定管理者名	一般財団法人 岐阜市公共ホール管理財団		
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日(5年間)		
選定方法	<input type="checkbox"/> 公募 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input checked="" type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	337,498,314円(令和元年度、岐阜市文化センターと合算)		
施設の設置目的	市民の文化及び教養の向上と福祉の増進を図るため。		
施設概要	ホール1、展示ギャラリー1、会議室2、多目的ルーム2、練習スタジオ1、和室1		

●利用状況

	R1 上半期	H30 下半期	H30 上半期	H29 下半期	H29 上半期	
利用者数(単位:人)	65,361	63,539	58,588	78,626	66,950	
各室稼働状況(%)	大ホール	36.9%	62.4%	36.9%	61.3%	37.2%
	展示ギャラリー	37.1%	41.1%	27.4%	35.1%	29.7%
	会議室80	34.9%	30.4%	37.7%	45.2%	34.3%
	会議室48	52.0%	54.2%	60.6%	70.8%	73.1%
	多目的ルームA	53.1%	47.0%	50.3%	53.6%	45.1%
	多目的ルームB	45.1%	53.6%	38.3%	39.9%	41.1%
	練習スタジオ	69.7%	68.5%	70.9%	68.5%	53.1%
和室	38.3%	42.3%	40.6%	44.0%	36.0%	

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①供用日・供用時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応	①適正に運営されている。 ②職員10人を配置し、業務を適切に遂行している。 ③年間の広報計画に基づき、広報ぎふや、フリーペーパー、さらに有料広告を活用し、積極的な広報活動を実施している。 ④指定管理者が定めた受付マニュアルに基づき、適切に対応している。
自主事業・提案事業	下記自主事業の実施 ①市民ジャズ・ビッグバンド「楽市JAZZ楽団」事業 ②Concert for KIDS 0才からの鼓童 ③初心者のためのダンスワークショップ ④松竹大歌舞伎 ⑤子ども伝統文化体験教室・発表会&出前講座 ⑥第26回・第27回市民プロデュース公演応援プロジェクト<公募> ⑦ぎふ演劇ワークショップ2019 ⑧岐阜市中学校美術作品展2019 ⑨華麗なるクラシックバレエ・ハイライト～ロシア4大バレエ劇場の競演～ ⑩「楽市JAZZ楽団」地域貢献事業 ⑪戯曲セミナー&リーディング発表会 ⑫ブラバン・ディズニー・コンサート2019	①市民ジャズ・ビッグバンド「楽市JAZZ楽団」事業 ・4月20日(日)「追加メンバーオーディション」実施 一般 6名、学生 3名入団 ②Concert for KIDS 0才からの鼓童 ・6月15日(土) 入場者数 618人 ③初心者のためのダンスワークショップ～バレエ編～ ・7月21日(日) 参加者 親子の部 9組18名、一般の部 19名 ④松竹大歌舞伎 ・7月25日(木)昼公演 入場者数 1,455人 ⑤子ども伝統文化体験教室・発表会(和太鼓)&出前講座 ・8月17日(土)、18日(日)「子ども伝統文化体験教室・発表会」実施 参加者 27人 発表会 90人 ⑥第26回・第27回市民プロデュース公演応援プロジェクト<公募> ・5月5日(日)、6日(月・祝)第25回採択事業「みものくに落語まつり～GW編～」実施 入場者数 141名 ・9月15日(日)第25回採択事業「実験的実演 サクソフォン&ピアノ Duoコンサート5th Anniversary」実施 入場者数 336名 ・7月12日(金) 第26回審査会実施 ⑦ぎふ演劇ワークショップ2019 ・5月2日(木)～5日(日)「高校生の部」実施 参加者 758人 ⑧岐阜市中学校美術作品展2019 ・毎月市内中学校2校の展示 ⑨華麗なるクラシックバレエ・ハイライト～ロシア4大バレエ劇場の競演～ ・7月31日(水) 入場者数 664人 ⑩「楽市JAZZ楽団」地域貢献事業 ・8月17日(土)「管楽器で参加！夏休みジャズ・ビッグバンド体験教室」実施 参加者 18人 ・9月12日(木)「楽市JAZZ楽団出前コンサート 岐阜特別支援学校」実施 ⑪戯曲セミナー&リーディング発表会 ・6月より月1.2回のペースで開催中 受講者 39人 ⑫ブラバン・ディズニー・コンサート2019 ・6月30日(日) 入場者数 1,290人
施設管理	①清掃業務 ②守衛業務 ③受付業務 ④建築物環境衛生管理業務 ⑤エレベーター設備保守点検 ⑥各種点検業務	毎日の日報及び実地調査にて履行状況を確認 ①清掃業務 ・日常清掃(開館前清掃、施設使用後の清掃)について計画通り実施 ・定期清掃(ワックスがけ、ガラス清掃、絨毯清掃)について計画通り実施 ②守衛業務 ・定期巡回(午前5時、午後7時、午後11時)、鍵・扉の開施錠業務、照明の点消灯業務、駐車場の管理業務について計画通り実施 ③受付業務 ・毎日午前8時～午後8時までの受付、案内、接遇、電話対応、簡易な事務補助、OA機器操作補助、催し物掲示板整理業務について計画通り実施 ④建築物環境衛生管理業務 ・貯水槽の清掃、水質検査業務、汚水槽・排水槽の点検清掃業務、病害虫等調査・防除業務について計画通り実施 ⑤エレベーター設備保守点検 ・月1回の点検を実施 ⑥各種点検業務 ・実施計画に基づき、順次実施

施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ・迅速な修繕の実施 ・指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	経年劣化等による故障を受け、速やかに修繕を実施した。 ・事務所空調機修繕 ・下手4階タンク室ほか蛍光灯取替修繕 ・大ホール上手便所天井排水管等修繕 利用者の利便性向上に繋がる修繕を実施した。 ・駐車場等ライン修繕 ・北玄関口排水路修繕
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①岐阜市個人情報保護条例及び同施行規則並びに財団規程に基づき、適正に管理運営を行っている。 ②独自の危機管理マニュアルにより、地震や火災、風水害、事故・事件等について、定期的な訓練等を実施し、来館者の安全を守る意識を高めている。また、主催者との打ち合わせで災害弱者の有無を事前に把握し、有事の際に適切な対応ができるよう努めている。 ③当施設の条例及び施行規則や関係法令を遵守し、適正に運営されている。

●利用者評価

利用者アンケートの実施状況	・6月15日～8月31日までの施設利用者(団体)90団体に「ご利用者カード」への記入を呼び掛け、76団体からの回答を得た。 アンケート質問項目は、「使用会場」「職員の対応」「敏速な対応」「的確な対応」「館内清掃」「備品満足度」「今後も利用したいか」「他施設の候補を考えたか」「利用の決め手」「当施設を以前から知っていたか」「情報媒体」。 ・常時「ご意見箱」とその記入用紙を館内(1階会議室ロビー)に設置。 ・「ご意見受付シート」により、来館者、利用者の意見・要望を把握するよう努めている。	
利用者アンケートの実施結果	○ご利用者カード集計結果 回収総枚数 76枚(回収率84.4%) 「使用会場」大ホール 17.1%、展示ギャラリー 7.9%、会議室80 11.8%、会議室48 21.1%、多目的ルームA 9.2%、多目的ルームB 7.9%、和室 10.5%、練習スタジオ 14.5% 「職員の対応」非常に良い 73.7%、良い 22.4%、普通 2.6%、悪い 1.3%、非常に悪い 0% 無記入 0% 「敏速な対応」非常に良い 77.6%、良い 19.7%、普通 1.3%、悪い 0%、非常に悪い 0% 無記入 1.3% 「的確な対応」非常に良い 77.6%、良い 18.4%、普通 3.9%、悪い 0%、非常に悪い 0% 無記入 0% 「館内清掃」非常に良い 69.7%、良い 26.3%、普通 2.6%、悪い 0%、非常に悪い 0% 無記入 1.3% 「備品満足度」非常に良い 68.4%、良い 23.7%、普通 6.6%、悪い 1.3%、非常に悪い 0% 無記入 0% 「今後も利用したいか」思う 89.5%、思わない 0% 無記入 10.5% 「他施設の候補を考えたか」考えなかった 65.8%、考えた 25.0%(他施設…ハートフルスクエアG、メディアコスモス、駅前、じゅうろくプラザ、岐阜市文化センター、ドリームシアター岐阜、県美術館、OKBふれあい会館) 無記入 9.2% 「利用の決め手」①使用料金 16.4% ②附属設備 3.8% ③収容人数 17.6% ④交通の便・駐車場 23.3% ⑤利用時間 3.8% ⑥職員の対応 5.0% ⑦知人の紹介 0.6% ⑧岐阜市の施設である 11.9% ⑨利用目的に合う 15.1% ⑩その他 2.5% 「当施設を以前から知っていたか」はい 89.5%、いいえ 7.9% 無記入 2.6% (主な意見) ・組織の目的などによっては使用料の減免等を導入していただきたい。附属設備も無料にしていただきたい。 →減免や利用料金については条例規則等で定められておりご理解いただきたいと思います。 ・駐車場がもう少しあるとありがたい。 →ご利用いただける駐車場には限りがあるため、ご理解いただくとともに、貸館やお客様の状況により、西側の駐車場や周辺の駐車場をご案内するなど臨機応変に対応してまいります。 ・会議室80の使用が無いとき、ロビー(2階)の空調が無かったのはとても不便。 →2階ロビーは夏場室温が高温になることもあるため、状況に応じてロビーの空調を早めに入れるよう改善しました。 ・利用料金が低い。 →料金につきましては条例規則等で定められておりご理解いただきたいと思います。 ・快適に使用させていただきました。ありがとうございました。	
利用者からの要望・苦情と対処・改善	利用者から寄せられた意見等に対しては、直接本人に回答するようにしている。窓口対応で利用者と職員が顔の見える関係を築くことが重要と考えているため、アンケート等に記入されないようなご意見や要望なども、コミュニケーションの中から把握し、「ご意見受付シート」を活用して市民会館全体で共有するようにしている。 (主な意見と対応) ・展示ギャラリーのパネル設置、撤去に必要な器具(スパナ)が使いづらく準備、撤収に時間がかかる。 →器具の劣化により、貸し出ししていたスパナがパネルのねじ部分に引っ掛かりづらくなっていたため、市販のスパナを加工して使い易い器具を提供できるようにした。 ・給湯室に机を拭く台拭きを置いてくださいますようお願いいたします。(湯呑用布巾ありませんでした。) →衛生上の観点から給湯室に台拭きや布巾の設置をしておりますませんでした。必要な方には事務所に貸し出しをすることとし、張り紙にて周知しました。 ・会場にてプロジェクター・パソコンの利用があったが、詳細をうかがったところ接続がHDMIであるとのことであった。現状、1mと3mほどのHDMIラインのご用意がなく、プロジェクターから演台までレイアウトによっては届かない可能性がある。 →HDMI接続のお客様も増えていることから、HDMIライン5mのものを購入した。	

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	平等利用を確保するための体制	・岐阜市の文化芸術振興の拠点施設として、住民の平等利用の確保をはじめ、岐阜市の施策に沿った運営を行っているか	A	A	A
		情報公開、広報の方策	・市の情報公開制度に基づき公開されているか。 ・指定管理者の発行する広報誌、チラシやホームページで広報されているか	A	A	A
		区分評価			A	
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	文化芸術事業を行っていく上での方針と主な事業計画	・市民の文化芸術への参加・参画の促進、文化芸術の普及・啓発、文化芸術を担う人材の育成、優れた文化芸術の鑑賞機会の提供に積極的に取り組んでいるか	S	S	S
		市民協働を取り組んでいく上での方針と主な事業計画	・岐阜市の施策に沿って、市民との協働に積極的に取り組んでいるか	S	S	S
		貸館業務・管理業務・舞台業務を行っている上での方針と主な事業計画	・岐阜市の文化芸術振興の拠点施設として、文化芸術に関する相談、助言など付加価値のある貸館業務に取り組むとともに、安全な管理業務、舞台業務の運営につとめているか	A	A	A
		既存業務の改善、工夫又は新規の魅力的な提案の有無	・業務内容を常に見直し、業務改善に取り組んでいるか	A	A	A
		利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方針(利用者に対するサービスの向上)など	・利用者へのアンケート調査を実施しているか ・また、その結果、利用者の要望、クレームに対し適切に対応しているか	A	A	S
		利用促進、利用者増の方策	・新規利用者の獲得、リピーター確保による利用促進を図っているか	A	A	A
		サービスの質を確保するための体制	・施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	A	A	A
区分評価			S			
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	管理経費削減の具体的方策	・管理経費は効率的かつ適切に使用されているか ・省エネ管理マニュアルなどをもとに、光熱水費削減に努めているか ・収支予算と実績とは大きく離れていないか	A	A	A
		スタッフ配置の妥当性(効率的な管理運営を図るための体制など)	・職員の人材育成に努め、効果的かつ適切な運営体制であるか ・文化センター及び市民会館を合わせた管理運営を効果的に行っているか	A	A	A
区分評価			A			
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	スタッフの管理、監督体制など	・事業を実施するために必要な資格や知識・経験を有する職員を配置しているか ・より良いサービス、活動を提供するために職員が勤務しやすい職場環境ができているか	A	A	A
		スタッフの人材育成の方策	・業務に必要な研修を実施し、資質の向上に努めているか	A	A	A
		リスクへの対応方策・能力(利用者の安全確保策、非常時の対応マニュアルなど)	・危機管理マニュアル・緊急連絡網等を整備し、緊急事態に対応できる体制が整っており、実際発生した際には対応ができたか ・また、個人情報保護等法令順守は適切に行われているか	A	A	A
		施設管理業務を行っていく上での方針と具体策	・施設管理業務を行う上での方針に沿った修繕を行っているか ・各種機械設備の保守点検、危機管理体制の整備、あるいは安全に十分に留意した管理運営を行っているか	A	A	A
区分評価			A			
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	地元の文化団体等の育成	・地元のアーティストを活用するなどし、文化団体等の育成に努めているか	A	A	A
		その他地元への貢献に関すること	・利用者以外の市民の問い合わせ等に対応しているか。また、地域の文化芸術を通じた地域振興に取り組んでいるか ・まちのにぎわいへの地域貢献しているか	A	A	A
		区分評価			A	

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

<p>今期の取組みに対する評価</p>	<p>1. 貸館業務 市民会館大ホールについては、昨年度上半期と比べて利用日数は増減なし、利用額が約67万円増であった。リピーターの利用は多少の動きはあるものの、ほぼ例年どおりであった。本番を2公演実施する有料興行イベントが増加したことにより、利用額が増加した。展示ギャラリーについては、リピーターの利用は堅調であり、さらに岐阜県美術館の工事休館に伴う代替施設としての利用があったことで利用日数、利用額とも増加した。一方、会議室48については、定期利用されていた加算対象の面接会場としての利用が減ったことなどから、利用日数、利用額とも減少した。 9月3日(火)・4日(水)に開催した利用相談会では、生命保険会社、塾、学校関係などを中心に営業を実施した結果、11団体20名が来館された。今後も市民会館の大ホール・各室利用の傾向を分析し、利用に繋がる地道な営業を継続したい。 なお、10月からの消費税増税に伴い、使用料が料金改定されたが経過措置があるため、その料金を利用者に平等に周知できるよう、利用申込書が提出されていない利用者には個別に連絡するなどきめ細かな対応を行った。また、料金改定に伴い料金表のデザインを刷新し、より分かりやすく、使い勝手の良いパンフレットを作成した。</p> <p>2. 施設管理 耐震補強工事は完了したものの、施設は築50年以上になっており、常日頃からチェックとメンテナンスが欠かせない状況である。利用者の利便性を高め、気持ちよく使っていただけるよう、下記のような対応を取った。 ①駐車場のライン及び身障者マークが経年劣化により剥離している部分があることや駐輪場のラインが汚損して判別しづらくなっていったため、利用者にも分かりやすくご利用いただけるようラインや身障者マークを再整備した。 ②大雨の時に北玄関口が浸水し利用者には不便をおかけしていたため、排水路のかさ上げを行い雨水の浸水を防ぐ措置をした。 ③展示ギャラリーの展示パネルを設置する際の器具が使いつらいと感じる利用者もいたため、利便性向上のためより使いやすい器具へと交換した。 ④施設の安全管理に必要な改修工事については、優先順位を決定してすぐに岐阜市に提案するなど、岐阜市と綿密な連携をとり、施設運営を実施した。 ⑤省エネマニュアルに基づき冷房の節減に努めた。また、電力量のピークを管理するデマンド計を導入しており、電気使用量の適正な管理で、電気料金の節約に努めた。</p> <p>3. 市民の劇場・市民ふれあい事業による地域貢献 ①「楽市JAZZ楽団」事業、及び同楽団による地域貢献事業では、4月に「追加メンバーオーディション」を実施し、一般6名学生3名の計9名が入団となった。夏には小学生～高校生対象の「夏休みジャズ・ビッグバンド体験教室」を実施し、子どもたちがジャズの特徴や演奏の楽しさを学べる貴重な機会を提供した。また、地域の特別支援学校に出席コンサートを実施した。 ②「Concert for KIDS 0才からの鼓童」では親子で音楽に親しむ貴重な機会を提供することができた。また、障がいを抱える方々や福祉施設への芸術鑑賞機会の提供を目的として、市内の聾学校や児童養護施設の招待を行った。 ③「初心者のためのダンスワークショップ」では、岐阜県洋舞家協会の協力のもと7月にクラシックバレエのワークショップを実施し、4歳から小学2年生までの「親子の部」では9組18名、小学3年生から一般までの「一般の部」では19名、計37名が参加した。 ④「松竹大歌舞伎」では、今回は松本幸四郎改め二代目松本白鸚、市川染五郎改め十代目松本幸四郎の親子そろっての襲名披露公演に市川猿之助が華を添える豪華な顔ぶれの公演であった。昼公演のみの実施となったが、チケットの売れ行きは好調で、公演当日は1,455名の入場があった。 ⑤「子ども伝統文化体験教室」では、触れる機会の少ない和太鼓に触れ、演奏を学んでいただくとともに、一緒に練習した友だちと舞台に立つという貴重な経験の機会を提供した。 ⑥「ぎふアジア映画祭」及び「市民スタッフ事業」では、共同で9月7日に市民スタッフとともに柳ヶ瀬商店街でポスターやチラシを各商店などに持って回った。映画祭では、9月下旬には岐阜駅に隣接するハートフルスクエアGにてポスター展を実施することで、映画祭開催の機運を盛り上げまちの賑わいづくりに貢献した。 ⑦市民プロデュース公演応援プロジェクトでは、第26回の審査会を実施し、2団体採択となった。また、第25回採択事業「みのくに落語まつり～GW編～」が5月、「実験的実演 サクソフォン&ピアノ Duoコンサート5th Anniversary」が9月に実施された。 ⑧「ぎふ演劇ワークショップ」では、高校生の部のワークショップが開催された。演劇・表現活動に興味をもつ高校生を対象に、地元で活躍する劇団員から演劇の基礎を学ぶとともに、学校や所属団体の枠を超えた交流の場を提供した。 ⑨「華麗なるクラシックバレエ・ハイライト」では、これまで実施したことがないクラシック・バレエ公演を取り上げ、4歳児から入場可能なコンサートを実施することで敷居の高さを解消できるように工夫した。市内外のバレエ教室などに営業を行い、当日の来場者は644名であった。 ⑩「ブラバン・ディズニー・コンサート」では、質の高いディズニー音楽の演奏に触れ、一流アーティストと共に舞台に立ち、一緒に演奏するという貴重な機会を提供することができた。また、障がいを抱える方々や地域子ども達へ芸術鑑賞機会の提供を目的とし、市内の特別支援学校や小中学校の招待を行った。</p>
<p>前回までの意見を踏まえた取組み状況</p>	<p>1. 取組み状況 平成30年度下半期にご指摘いただいたアンケートの回収数増については、岐阜市民会館はリピーターの利用者が多く、アンケートの回収率も高いため、アンケート期間を延長し実施することで回収数の増加を確保した。施設の老朽化が課題となっているが、日ごろから点検や施設内の見回りを徹底し、必要な場合には異常箇所を調整や修繕することで不具合を最小限にとどめている。また、改修工事については、現場の状況、利用者の安全や利便性を考慮して、適切な時期や優先順位について岐阜市へ提案していく。</p> <p>2. 貸館業務・施設管理 これまでも評価いただいているが、アンケート実施する利用者アンケートではいずれの項目でも「非常に良い」「良い」の合計が90%を超える回答をいただいているが、アンケート満足度の高さに甘んじることなく、常に利用者からのご意見を取り上げていきたい。また、施設の修繕や安全管理に関しては、事故等なく施設運営を行っている。地震や火災などを想定した総合防災訓練を年2回実施しているが、休日や夜間帯は勤務体制が少人数であることを踏まえ、職員を2つにグループ分けし、避難誘導する職員と来場者役に分かれて行うことで、より実践的な訓練とした。また、来場者役の職員を身体障害者(車いすを利用)と想定し、職員が実際に車いすに乗り、避難の際に不便や不安を感じる点を体験した。さらに、訓練にあたり役割分担については明記せず火元がわからない状態で訓練を行うことでより臨場感のある訓練となった。</p> <p>3. 市民の劇場・市民ふれあい事業 昨年度には「ぎふアジア映画祭」の特別企画の実施により多数の方にご来場いただいた点や、「市民スタッフ事業」における映画と落語を交えた企画について評価をいただいた。今年度についても、「ぎふアジア映画祭」では岐阜市出身で映画の原作漫画家のトークショーや文化講座などの特別企画を実施し、「市民スタッフ事業」では昨年好評だった映画と落語に加え、真打として活躍する岐阜県在住の講師による講談を組み合わせた「ぎふ文化センター寄席」を開催するなど、さらなる取り組みを行っていく。</p>

今後の取組み

1. 貸館業務

定期利用団体を確保していくとともに、上半期において36団体あった新規利用者に継続利用してもらえよう、積極的な営業活動をしていく。また、上半期の定期利用団体の特徴を分析すると、一般企業、任意団体、子供向けサークルなどでの利用であったので、次回利用相談会では企業、団体や同ジャンルへの営業を強化することで更なる定期利用団体を増やしていきたい。

2. 施設管理

- ① 大雨の際に雨漏りが頻発するため、会議室80、練習スタジオの窓枠漏水修繕を実施する。
- ② 経年劣化により、大ホール1階下手女子トイレに水漏れが発生しているためフラッシュバルブ取替修繕を実施する。
- ③ 大ホール入口扉のレザー張り部分がめくれ上がっているため、レザー張替修繕を実施する。
- ④ 建築設備点検で指摘された不点灯の非常灯について取替修繕を実施する。

3. 市民の劇場・市民ふれあい事業

- ①「楽市JAZZ楽団」事業では、10月にチケットを発売し、プライベートを含めた第12回ぎふジャズフェスティバルの実施を準備していく。
- ②「子ども伝統文化体験教室・発表会&出前講座」では、12月に市内小学校で能楽出前講座を実施する。
- ③「第41回ぎふアジア映画祭」では、10月13日(日)から11月30日(土)にかけ、アジアの15作品を上映し、映画の原作漫画家によるトークショーや文化講座など、特別企画も実施する。
- ④「市民スタッフ事業」では、昨年度に引き続き「チャレンジ企画」として、全日本学生落語選手権「策伝大賞」の優勝者を輩出するなど活躍が目覚ましい地元の岐阜大学落語研究会と岐阜聖徳学園大学落語研究会「笑タイム」を招き、地元の学生噺家を紹介する機会を10月20日に提供する。12月21日には、「ぎふ文化センター寄席」として「もういちど 家族落語」の映画上映と落語家昔昔亭A太郎と講師神田昌味による落語と講談を実施する。
- ⑤第27回市民プロデュース公演応援プロジェクト〈公募〉の募集を11月から実施し、審査会を来年1月に開催するための準備をしていく。12月には第26回採択事業「声宣会オペラシリーズNo.27 マスネ作曲「サンドリオン」(シンデレラ)フランス語上演」を実施する。
- ⑥「ぎふ演劇ワークショップ」では、2月に一般の部を、3月に中学生の部を開催する。
- ⑦「岐阜市中学校美術作品展」では、引き続き1か月単位で市内中学校2校による共同展示を開催する。
- ⑧「楽市JAZZ楽団」地域貢献事業では、市内小学校を対象とした出前コンサートや、一般を対象とする「クリスマス・ジャズ講座」などを実施する。また、さんぽde野外ライブや市場まつりなど、地域の行事に参加を予定している。
- ⑨「戯曲セミナー」の講座を6月から月1、2回ペースで実施しており、1月の「優秀短編発表会」に向けて、選出した戯曲を舞台作品に仕上げしていく。
- ⑩「市民スタッフ育成事業」では、外部講師による「表方研修」の実施や出張研修を予定している。

●所管課の意見

適切な人員配置及び業務委託により、安全に十分留意した管理運営が行われている。

市民会館は開館して半世紀を超えているが、事故を含め、施設運営に大きな影響を与える故障などが発生していないのは、日頃からの点検等の賜物である。また、異常を早期発見することで、修繕で終わることができ、円滑な施設運営ができていることは評価できる。計画的に修繕等を行い、施設運営に影響を与えないことを期待する。

昨年に比べ、稼働率、利用者数、使用料収入は増えている状況である。有料のイベント等が増えたことや、県美術館のリニューアル工事に伴う代替施設として利用があったことが要因である。その他、会議室等においても利用者の定着やリピーターも堅調であった。引き続き、リピーターを確保するとともに新規利用者も獲得するなど、努力をしてほしい。

指定事業においては、JAZZ楽団の追加オーディション、体験教室を行うことで、新規メンバーの獲得ができた。今年で12回になるJAZZフェスティバルも岐阜市の冬の一大イベントに成長しているため、さらなるレベルアップを目指してもらいたい。また、0才からの鼓童や各種出前講座を行う事で、音楽や伝統文化など、次世代の若者に対し、興味・関心をもってもらう良い機会を提供しており、岐阜市の文化に親しむ環境づくりの一翼を担うことを期待する。

●指定管理者評価委員会の意見

施設の管理においては、施設の安全に留意した管理がなされている。

・前回の評価委員会の意見を受け、アンケート数を増やす工夫をし、アンケート数が増えていることは評価できる。引き続き取り組んでほしい。

・アンケート結果において、次回も使いたいという割合が高く、評価できる。

・自主事業について、料金設定についての資料があると良い。主催者側にとっても料金設定の相場が分かると良いのではないかと。そういったところまで支援できると良い。

・職員は明るく窓口対応するよう心がけてほしい。